



# 横浜市情報・視聴覚教育研究会

## 横浜タブレット元年を迎え、着々と…

研究会長 田中 芳夫

4月から歩み始めた研究会も4か月が過ぎ、ワンクールを終え夏休みに突入しました。今年度は、「横浜タブレット元年スタート！」というキャッチフレーズで、「情報活用能力を生かし、問題解決する子どもの育成」～タブレット端末を効果的に活用した授業デザイン～という新たなテーマのもと、昨年の研究を発展させ、横浜の情報教育の先進役としての役割を果たそうと研究を進めてきました。

4月から7月までの研究は実践提案を基に、スキルアップ部会では「タブレット端末などの情報機器を活用し、主体的・協働的な学習につながる『基礎力』の育成」の基礎力に焦点を当てて、授業デザイン部会では「タブレット端末を活用して、主体的・協働的に問題解決する実践力の育成」という実践力に焦点を当てて、研究を進めてきました。研究日前に研究推進委員会で提案についての検討を重ねることで、研究会当日の提案が輝きを増し、参加者が入りきらないほど盛況を呈しているのもうなずけます。タブレット端末をいかに効果的に授業で活用していくかが注目を集めているからこそでしょう。それだけではなく、なんとか授業を改善したい、分かる授業・楽しい授業をしたいという思いが根底にあるからだと思います。

夏休みも我々にとっては学ぶ機会でもあります。7月26日の夏季研修会では、放送教育の活用とタブレットの活用についての研修会が行われました。午前は、NHK for School の活用のしかたについて。午後は各学校に配当されたタブレット端末の活用のしかたについて。2本の研修とも実際の授業でどう活用するかという、具体的かつ実践的な内容で、参加者から好評を得ていました。

8月2日に川崎で行われた県の夏季特別研修会では横浜からは小中2本の提案があり、小学校の提案は放送教育を活用し、情報活用のしかたを学ぶという個別支援学級での実践で、放送教育・視聴覚・情報活用は、すでにポータルレスになってきているのではないかの思いを持ちました。

9月からは、全学校にタブレット端末が出揃ったところで、今後の活用について、そして12月の一斉授業研究に向けて、チーム情報・視聴覚として、横浜の情報教育を推進していきましょう。

## 目次

### 特集記事

研究会長あいさつ	1
授業デザイン部会	2
スキルアップ部会	3
夏季特別研修会報告	4

### 発行

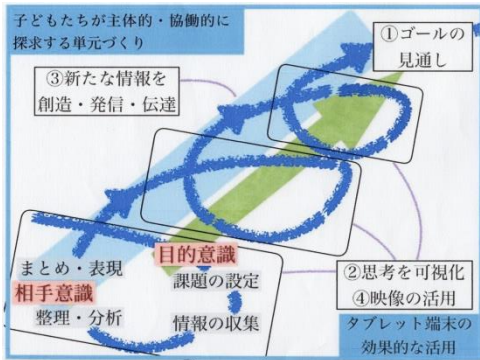
横浜市小学校教育研究会  
情報・視聴覚研究部会  
会長 田中 芳夫

### 編集

紀要・広報委員  
横浜市立茅ヶ崎小学校 岡田 貴彦  
横浜市立仏向小学校 長崎 伸也

平成28年度 夏季広報誌

## 授業デザイン部会について



28年度は部会研究主題「タブレット端末を活用して、主体的・協働的に問題解決する実践力の育成」に取り組んでいる。具体的には、主体的・協働的に問題解決する実践力を育てるには、その問題の発見・解決に向けて、「課題設定→情報収集→整理分析→まとめ・発表」という探求のサイクルを繰り返し行う学びについて、ICT(タブレット端末)がどのような役割と効果をもたらしたのかという考察を重ねてきている。

年度初めから、これまでの部会研究では、児童が学習のゴールに見通しをもち、互いの情報を可視化・共有化して、新たな情報を創造・発信・伝達するには、ICT(タブレット端末)の機能が有効であることが実践を通して見られた。また、ICT(タブレット端末)を用い、学びの中で、映像の活用によって、児童の問題意識や相手意識を強くもつ効果があることも実践で見られた。

## タブレット端末を活用して、主体的・協働的に問題解決する実践力の育成

### 授業デザイン部会活動経過

#### 4月 定期総会・オリエンテーション

講演会「学びを支える情報活用能力育成とICT活用」

横浜国立大学教授 野中 陽一 先生

#### 5月 部会研究

「情報活用能力を生かして問題解決する子どもの育成」

港北小学校 近藤 睦 先生

#### 6月 部会研究

「狂言を楽しむ ～協働的な学び・タブレット端末の活用を通して～」

北山田小学校 園田 泉 先生

#### 7月 部会研究

「情報活用能力を育成する授業デザイン」

西富岡小学校 藤原 直樹 先生

### 「問題発見・解決に向け、探求のプロセスを重視した単元デザイン」

授業デザイン部会 部長 藤原 直樹

4月講演会で横浜国立大学野中先生から、今の子どもたちには、情報活用能力・コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力を育てることが、これからの社会に求められる力であることが示され、これらの力の育成とタブレット端末は非常に親和性が高いことが小・中・高校や海外などの複数の実践や取組、同教授の研究を基に説明された。授業においては、指導のためのICT活用とともに、(児童が)学ぶためのICT活用が重要であり、そのためのICT操作スキルの必要性もあげていた。

5月部会研究では、社会科、総合的な学習の時間など教科領域を横断したダイナミックな単元構成がなされた実践を基に、探求のプロセスをスムーズなものにするためには、実社会との関わりをもたせた活動展開や、「フェアを開く」という単元を通した目的意識と「もっと多くの人に」と広がる相手意識をもたせることを大切さについて学んだ。これまで資料収集・保存・整理・共有・Web検索などでタブレット端末を活用していた経験から、今度は作品を作りたいという思いを自然にもち、Webページを作るという活動につなげるという探求のサイクルの具体を基に活発な議論がなされた。

6月部会研究では、狂言の解釈と表現について、NHKの映像資料を用いた実践を基に、映像活用と探究的な学びについて考察を行った。本物に触れることのよさ、繰り返し教材と関わることのよさ、自分たちの活動と映像とを比較して新たな課題を設定していくことで探求のプロセスを作り進めていく成果が議論の中で見えてきた。

7月部会研究では、パンフレット制作という学習活動において、児童同士が思考を可視化し、互いの状況や課題を共有することで、同じ思考の土俵で学び合い、思考がからみ合い深め合う学びを提案された。ルーブリックを基に児童らが自分たちのゴールや現在地をつかんで学習を進めることで、主体的な学びにつながっていることが議論の中で明らかになった。



## スキルアップ部会について

タブレット機器の導入が始まり、実際に授業で使われている先生も増えてきました。教職員に限らず、一般家庭においてもスマートフォンやタブレットが生活の中で日常的に使用されつつありますが、学校現場にその視点に向けてみると、授業の中で主体的・協働的な学習に向けてどのようにタブレット機器を活用していけばよいのかが分からず困っている学校もまだまだ多いのではないのでしょうか。

そこで、今年度はスキルアップ部会の取り組みとして、タブレット端末の活用を中心に、より多くの実践事例について会員研究の中で検討することを重ねながら、「どのように活用することが効果的であるか」「子どもたちが主体的・協働的に探究するためには子どもや教師にどのような情報スキルが必要か」という視点に沿って一年間かけて研究し、教職員のスキルアップへとつなげていこうと考えています。

## 「“教師”と“こども”のスキルアップをめざして」

スキルアップ部会 部長 東森 清仁

5月の部会研究では、昨年度県大会で ICT 機器の活用について取り組まれていた長津田第二小学校の原田先生から理科学習での ICT 機器の活用についての提案がありました。撮影した画像を大型テレビで視聴しながらの理科学習の進め方や、動画や顕微鏡画像の撮影と活用について検討することができました。

6月の部会では、茅ヶ崎台小学校の山口先生、原先生、望月先生からそれぞれタブレット活用についての提案がありました。タブレットソフト「メタもじノート」を活用した視覚的支援の方法、タブレットのメモ機能を付箋紙のように色分けしながら使うことで思考の支援を行う授業作り、画像のズーム機能を活用した図工の鑑賞の授業作りなどについて学ぶことができました。

7月の部会では仏向小学校の長崎先生より、体育の跳び箱の授業で iPad の動画ループ再生機能を活用し、お手本となる動画と自分の動きを見比べながら運動技能の向上に取り組む授業実践についての提案がありました。

様々な提案の中で、授業での活用について具体的に学ぶとともに、自分の学年、クラスであればどのような学習に応用できるかの検討を行ったり、教室や職員室で児童や職員がタブレット機器を活用しやすい環境づくりについての意見交換を行ったりすることができました。また、部会の ML を発行し、次回の提案の案内や部会記録を共有する取り組みも始めることができました。今後も引き続き、より良い提案や実践の報告を会員で共有できるよう取り組んでいきたいと考えています。



## スキルアップ部会活動経過

4月 定期総会・オリエンテーション

講演会「学びを支える情報活用能力育成とICT活用」

成とICT活用」

横浜国立大学教授 野中 陽一 先生

5月 会員研究

「ICTを活用した理科学習」

長津田第二小学校 原田幸太 先生

6月 会員研究

「かんざつ名人になろう」

「紙飛行機マスターになろう」

「みる みる みえるよ」

茅ヶ崎台小学校

山口哲平先生、原拓和先生、望月勇太先生

7月 会員研究

「美しい技で！4年2組レインボーとび箱」

仏向小学校 長崎伸也 先生



## 「日常授業における学校放送番組活用の極意」

### 夏季研修会

#### ①「日常授業における学校放送番組活用の極意」

##### 【講師】

全国放送教育研究会連盟  
研究推進部長

片岡 義順 先生

#### ②「日常授業におけるタブレット端末活用の極意」

##### 【講師】

静岡県浜松市立三ヶ日西小学校教諭

菊地 寛 先生

7月26日(火)in 港北小学校

日常授業で学校放送番組を活用する授業を展開していると、子どもの学習意欲・期待感が高まり、子どもから「授業が楽しい」という感想が聞かれるようになる。さらに、効果的に番組活用すると、子どもたちと感動や発見・驚きを共有でき、クラスの中で対話が活発になるよさがある。片岡先生には主体的な学び、深い学びへとつながる活用方法について教えていただいた。

後半は10月から始まる情報教育の新番組を視聴し、グループを組んで授業案を作成するワークショップが行われた。活発な議論が行われ、同じ番組を活用しても学年や教科、活用の意図も様々な計画が立てられていた。共有タイムでは、各グループの指導案を回りながら、共有を図っていった。夏休み明けから実践できる有意義な研修となった。



## 「日常授業におけるタブレット端末活用の極意」

横浜市も今年度、全校にタブレット端末が配付された。本研修では、ネット環境やアプリがなくてもできる本市の現状に対応したタブレット端末の授業を体験することができた。

授業は社会科、アクティブラーニングを意識して、ジグソー学習を取り入れた学習形態で行われた。ジグソー学習になると、協動的・主体的な学習活動が行われ、学習課題に必然性が生まれるよさがある。課題別グループでは、活発に対話をしながら北海道や沖縄の気候や暮らしなどを資料集をもとに調べ、どの資料を写真に撮ったらいいかを話合せて決めていった。CM作りという学習のゴールを意識して資料を集めることも大切である。そして初めのグループに戻り、air drop で送られた写真等をタブレット端末にうつしながら説明し合う。CM作りは Keynote を使って写真4枚で作成することで、枚数に制限をかけ、より深い学びへのしかけが見られた。CMは全員が発表し、それぞれがグループを回って自由に成果を聞き合うことで、さらに学習内容の理解を定着させることができる。定員を超えるたくさんの先生方が参加し、タブレット端末を有効に活用する授業を体験することができた。



## 神奈川県放送教育・視聴覚教育 合同夏季特別研修会報告

8月2日(火)in 川崎市中原市民会館

午前は NHK 横浜放送局放送部副部長西村弘光氏をお招きし「子どもたちの映像制作に欠かせないものは」というテーマで基調講演があった。午後は分科会に分かれて各提案を行った。

横浜市は情報活用教育分科会で個別支援学級の実践を踏まえた提案を行った。25名という集団を生かした学級づくりで、社会性を育成する活動に取り組んでおり、その中で、タブレット型 PC などの機器や放送番組を活用して、生活スキル、コミュニケーションスキルの育成を目指している。タブレットを使うことで自分の姿を客観的に捉えることができるようになってきたこと、コミュニケーションツールとして活用できていることが成果としてあげられる一方、成長段階と課題をとらえたうえで、目的意識をもち計画的に授業を行う必要があると課題があげられた。一般級や職員の研修の場などの活用についても提案され、学校として組織的な取り組みを行い、授業のねらいと子どもの実態に即した活用をするよう御助言をいただいた。



## 研究会からのお知らせ

<p>横浜市立小学校 情報・視聴覚教育 研究主任様</p> <p>横浜市立小学校教育研究会 情報・視聴覚教育研究部委員長</p> <p>定期総会 新年度役員選出 研究計画 予算案等</p> <p>4月27日(水)、技術文化会館にて平成28年度定期総会と講演会が行われました。田中秀夫研究部委員長や教育委員会山下様、立田様から研究や情報活用能力を育成する教育の方向性をめぐるご挨拶を頂いたあと、本研究会の研究テーマ「情報活用能力を生かし、問題解決する子どもの育成」について説明がありました。本年度は「タブレット端末を効果的に活用した授業デザイン」のサブテーマを追加し、研究をすすめることになりました。</p> <p>講演会では「学びを支える情報活用能力育成とICT活用」をテーマに横浜国立大学教授の野中 隆一先生にご講演いただきました。学習</p>	<p><b>メディアワールド</b></p> <p>情報活用能力を生かし、問題解決する子どもの育成 ～タブレット端末を効果的に利用した授業デザイン～</p> <p>平成28年度 4月号</p> <p>発行   横浜市立小学校教育研究会 情報・視聴覚教育研究部 委員長 田中 芳夫</p>
---	---

### 「メディアワールド」

市情報・視聴覚研究会では、活動の内容を広く知ってもらうために各月の活動の内容を「メディアワールド」という広報誌にまとめ、各学校の情報担当の方に配布しています。

取り組みの内容や活動に興味をもった方はぜひお気軽に研究会に参加してみてください。

みんなで、楽しく、充実した学びに取り組んでみませんか。

横浜市情報・視聴覚教育研究会 WEB

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/kenkyu/es-ict/>